

資料3

地域ESCO事業について

第4回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会
場所:秋田市環境部庁舎
平成23年11月29日(火)

ESCOパイロット事業について(1) ～ 想定される効果 ～ (試算)

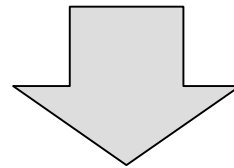
ESCO事業による施設側への予想される効果(ベースラインは2007-2010年の平均値とする)
 エネルギー使用量に関して →(変更)本夏の節電結果を加味し、平成20年10月より平成23年9月まで36ヶ月の平均値とする

管轄部局	対象施設	削減エネルギー				省エネ施策(案)
		電力量 (kWh/年)	都市 ガス量 (m3/年)	灯油 (L/年)	削減金額 (千円/年)	
商工部	秋田テルサ	103,000 (▲9.2%)	—	20,800 (▲14.5%)	3,433 (▲10.2%)	照明高効率化、外気導入量削減、 搬送系インバータ設置
商工部	サンライフ秋田	12,200 (▲4.2%)	8,330 (▲11.6%)	—	1,458 (▲13.2%)	照明高効率化、LED照明導入、空調運用変更、 デマンドコントローラー設置
福祉 保健部	老人福祉センター	9,340 (▲4.2%)	—	—	152 (▲1.7%)	照明高効率化、冷温水1次ポンプのインバー タ設置
保健所	保健センター	6,980 (▲6.2%)	1,429 (▲4.9%)	—	236 (▲5.4%)	照明高効率化、外気導入量削減
教育 委員会	山王中学	2,400 (▲0.8%)	—	—	48 (▲0.5%)	太陽光発電設置(新エネ)

地域ESCO事業について(2)

対象施設の選定に関して

- ・ESCO事業を考慮した対象施設の選定を行うに当たり、以下の点を判断基準とした
 - ①エネルギー原単位の大きな施設（市施設のエネルギー使用量で上位30番目まで）
 - ②多棟施設が同一又は近接敷地にあり、エネルギーの相互融通の可能性のある施設
 - ③以前にESCO調査の打診を受けた施設
 - ④施設運用に特殊な要因がない施設（建物の権利関係が複雑でない等）

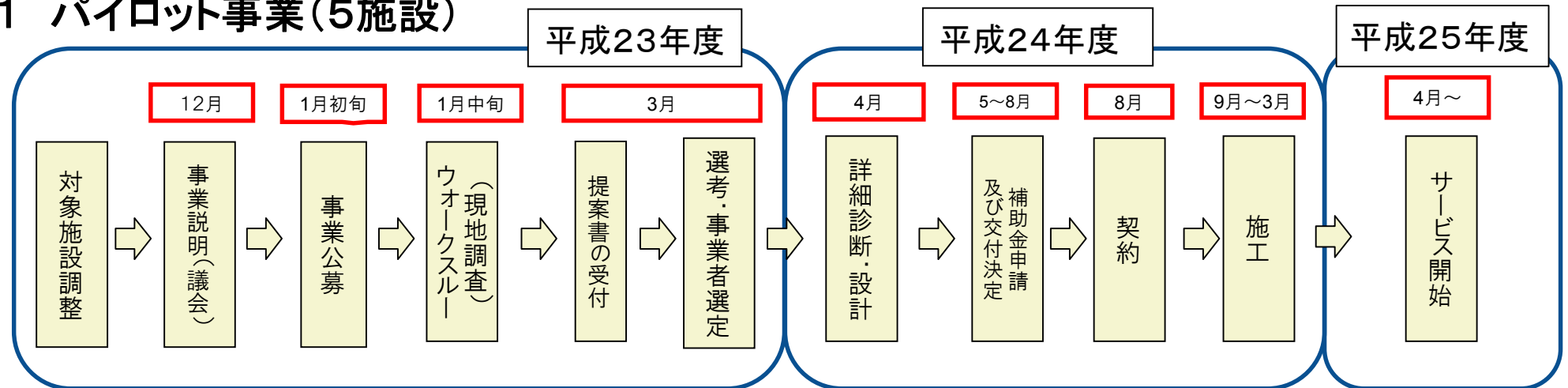


候補予定施設(案)

- ① 川口、河辺、外旭川などの老人デイサービスセンターのうち代表として1施設
- ② 雄和ふるさと温泉を中心とした周辺施設群(5施設)
（雄和ふるさと温泉、観光交流館、里の家、農産物加工所、サイクリングターミナル）
- ③ 太平山リゾート公園を中心とした周辺施設群(クアドーム、森林学習館、スキー場等)
- ④ ポートタワーセリオンを中心とした周辺施設群(セリオン及びセリオンプラザ)
- ⑤ 上下水道施設(4施設)
（上下水道局庁舎、仁井田浄水場、豊岩浄水場、八橋下水道終末処理場）

ESCO事業について(3) ～ 実施スケジュール ～

1 パイロット事業(5施設)



2 地域ESCO事業

